

(様式第4号)

第1回 上田市子ども・子育て会議 会議概要

1 審議会名	上田市 子ども・子育て会議（書面会議）
2 日時	意見聴取期間：令和3年8月3日から令和3年8月25日まで
3 出席委員 （意見提出者）	酒井会長、浅川委員、安藤委員、飯島委員、鹿取委員、唐澤委員、金委員、小松委員、 下村委員、高井委員、土屋委員、中澤委員、西澤委員、長谷川委員、星野委員、 丸山委員、三井委員、御堂島委員、宮下委員、山崎委員
4 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
5 会議概要作成年月日	令和3年9月17日
協 議 事 項 等	
1 審議内容	(1) 上田市子ども・子育て支援事業実施状況の点検・評価について (2) 上田市保育施設整備計画の変更について  別紙のとおり

# 別紙

## 令和3年度 第1回上田市子ども・子育て会議（書面会議）

### 1 上田市子ども・子育て支援事業実施状況の点検・評価について

#### (1) 意見・質問

##### 【委員】

・資料2 No.2.3 妊婦一般健康診査受診票交付・妊婦歯科検診受診票交付

妊婦と産婦の健康診査受診票を分ける必要はあるのでしょうか？

例えば、妊娠から出産までの早見表のようなものを作り、妊娠期ごとに必要な受診票を添付する。或いは母子手帳に受診票を添付してみるのはいかがでしょうか？

定期的な妊婦検診の際に歯科検診票も目につくところがあれば、受診率も上がるのでは？と考えます。妊娠から出産まで一括して添付されていると、紛失なども防げるのではと思います。

##### 【健康推進課回答】

産婦健診の助成は令和元年より開始しましたが、健診項目の違いもあることから、識別しやすいよう色を変えています。母子手帳発行の際に、妊婦健康診査受診票、産婦健康診査受診票、妊婦歯科検診票の3種類の受診票について説明しながら、A4サイズのファイルに、妊婦受診票、産婦受診票、歯科検診票を入れてお渡ししています。なお、受診票は一括して預かっている医療機関もあります。歯科については、検診としてではなく、出産前に治療をしておくということで、すでに歯科医院に受診中の方もいらっしゃることもお聞きしています。

ファイルに入れてお渡しすることで、以前より紛失の問い合わせは減っていますが、妊婦健診の中期の受診票の後ろに歯科検診票を重ねてお渡しするなどの工夫も検討しながら紛失の防止や受診率向上につなげていきます。

・資料2

【再掲】と記載されているものと、ないものがあるのは何故でしょうか？

9と114、89と131、132と136など資料を読み進める中で、他の事業との連携や関わりなどがわかりやすく、「どこかで読んだ内容？」と、資料を遡って探す手間が省けると有り難いです。

##### 【子育て・子育て支援課回答】

御指摘いただいた部分を確認したところ、【再掲】の文字が漏れておりました。委員の皆様大変失礼いたしました。

今後、御協議いただく資料につきましては、誤字・脱字を精査するとともに、見やすいレイアウトや平易な言葉にて作成するよう努めます。

## 【委員】

### ・資料2 P9

この数年で災害級の台風・大雨・猛暑など環境の変化が激しい上田地域です。

放課後児童クラブについて以前から気になっていましたが、かなり建物が古く老朽化が進んでいる施設もあります。建物自体の安全確保や冷房完備（行われているのでしょうか?）、学校だけでなく見直しを行っていただきたいです。

今後、働く家庭も多く利用ニーズも高まっているため、環境変化に合わせた対応をご検討ください。

## 【学校教育課回答】

放課後児童クラブについては、修繕及び補助金を活用した計画的な整備に取り組んでいるところです。また、令和元年度には、菅平を除く全放課後児童施設にエアコンを設置いたしました。今後とも安全・安心な施設となるよう努めてまいります。

### ・資料3について

一次預かり事業など、お母さん、お父さんが働きやすい環境を整えられるように、仕事の面接や試験の際も急に決まったことへの柔軟な対応はできていますか?（以前も委員会で話をしました。）

上記内容は、急に決まることが多く事前予約制も迅速に対応できる環境が必要です。

また、この保育はシステム化し、スマホ・インターネットで事前に予約できるようになると多忙な中でも利用しやすく、上田市で安心して子育てできる環境のPRになると確信します。

## 【保育課回答】

緊急な利用への対応については、十分とは言えませんが、可能な限り柔軟な対応を心がけるよう配慮しております。また、保育園で行う一時預かりの受入れは単に人数ではなく、子どもの年齢や利用経験の有無などによっても変わるため、申し込みをシステム化する場合、前提として十分な提供体制を整える必要があります。

このようなことから、直ちに予約のシステム化は難しい状況にはありますが、支援を必要とする人が、利用しやすい一時預かり事業となるよう予約のシステム化も含め他市の取組等についても研究してまいります。

## 【委員】

### ・資料2 No.30 職員配置の充実

“保育士の確保が難しい”ことに対する原因分析と対策はどうなっていますか?

仮定の話ですが、市の独自基準を満たしていない施設で問題が発生した時、職員配置が要因の一つとしてあげられたとして、“国の基準は満たしていた”では、当事者を含めて市民からの非難は免れないと思います。

継続的に市の独自基準を満足させる職員配置ができる方策を導き出してほしい。

### 【保育課回答】

3歳未満児の増加に伴い新たに必要となる保育士の多くは、非常勤職員の採用により対応してきましたが、保育士を目指す学生の減少、全国的な保育士不足による地域間の採用競争等から、非常勤職員の採用に苦慮する状況が続いております。

このような中で、令和2年4月には待機児童が発生し、非常勤職員の採用では限界があることから、正規職員を段階的に増やしていく方針で進めております。

また、保育現場を離れてしまう要因の一つとして、業務負担の多さも上げられることから、ICTを活用した業務効率化を進め、保育士の負担軽減を図ることで、離職防止や保育現場を離れている有資格者の復職に繋がりたいと考えております。

### 【委員】

#### ・コロナ関連

1年半以上にわたり、子ども達も色々なことを制限されています。楽しいはずのイベントが中止、縮小され、子ども達全体のストレスは相当なものがあると推察します。そのストレスを周囲に出せる子どもは相談員等のケアが届くと思いますが、そうでない子どももいるのではないのでしょうか。専門家ではないのでわかりませんが・・・。

コロナ禍でも子ども達がストレスを発散できること何か取り組んでいますか？

### 【学校教育課回答】

学校においては、日頃から全ての教職員が児童生徒の様子を観察し、本人への声がけ等を行っているほか、いつでも悩み事を言える環境を整え、教育相談やアンケートを通じて、心の状態の把握に努めています。

制約の多いコロナ禍ではありますが、感染症対策を十分講じながら、児童生徒と教員ができることを共に考えながら、様々な学習活動や学校行事に取り組んでおります。

### 【健康推進課回答】

コロナ禍において、特に年齢の小さいお子さん方については、親の健康状態や家庭の状況が影響するものと考えられ、お子さんも親御さんも昨年6月には、当課で親子で何かリフレッシュできるもので、かつお子さんの発達を促すものをとの思いから、親子で家庭内でできるふれあい遊び運動遊びの動画を作成しYouTube配信しています。

### 【子育て・子育て支援課回答】

家の中でも親子で楽しくスキンシップをとりながら遊ぶことができる「手遊び」「体操」「わらべ歌」の親子遊びの動画を作成し、3回に分けてYouTubeで配信いたしました。

今年度についても、新たな動画を作成し配信する予定です。

※インターネットの検索画面で「笑顔で親子のコミュニケーション！」と入力すると、該当動画のページが表示されます。

## 【委員】

### ・資料 2 No.70 ペアレントトレーニング

ニーズが高い内容のため、保護者や支援者向けを継続していただきたい。  
令和 3 年度の記載が令和 2 年度になっていたのでは。

### 【発達相談センター回答】

ペアレントトレーニングは保護者向け、支援者向けともに大変ニーズが高く募集してもすぐ定員に達してしまう状況です。保護者の希望者には集団のペアレントトレーニングだけでなく個別対応も行い、なるべく困った状況を抱えてお待ちいただく時間が少ないように対応しております。支援者向けは令和 3 年度は公立保育園の保育士のみを対象として行っております。今後は私立園等も対応していけたらと思っております。

御指摘いただいた部分を確認したところ「令和 3 年度」の誤りでした。委員の皆様大変失礼いたしました。

### ・資料 2 No.73 放課後等デイサービス事業所の資源開発

放課後等デイサービスについては、供給が追いつかない状況があるため、児童クラブなど配慮を受けながら利用できるよう、個々のアセスメントを行い、出口の調整をしていただきたい。

### 【障がい者支援課回答】

放課後等デイサービスについては、利用ニーズが高く、ここ数年新たな事業所の開所も続いており、利用者も右肩上がりに増えている状況にあります。

利用者の中には、放課後児童クラブ等を利用していた児童や、放課後児童クラブ等の利用を継続しながら、放課後等デイサービスを利用しているお子さんもいます。

これまでも、放課後児童クラブを併用しているお子さんの支援会議等へ、児童クラブの職員の方に御参加いただくこともあり、連携を取りながら支援に当たっている状況にありますが、支援の目的や職員配置、環境等に違いがあることから、放課後等デイサービスから放課後児童クラブへの利用移行については、難しい状況にあると思われま。

しかしながら、お子さんや保護者の方が放課後児童クラブの利用を希望する場合や、お子さんの支援にとって、放課後児童クラブの利用が適当（必要）と考えられる場合もあると思われることから、個々の状況、ニーズ等をしっかり確認し、利用に当たって必要な支援について丁寧に検討していくことが大事であるため、関係各所と連携・協力を図りながら、放課後児童クラブでの受け入れ等をはじめ、様々な支援の方向性について検討を行っていくよう努めてまいりたいと思います。

## 【委員】

### ・資料2 No.74 障がい福祉サービスの提供

児童発達支援センターの利用について、近年、希望者の低年化や医ケア児が増えていることから、入園調整が難しくなっている。

早期支援は、本人の発達支援や家族支援の観点から重要であるため、地域の保育所等での受け入れができる体制、人員配置や環境整備をお願いしたい。

### 【障がい者支援課回答】

児童発達支援センターの利用に当たっては、関係各所と連携を図りながら、毎年入園調整を行っており、早期支援の必要性についても共通認識を持って取り組んでおります。

障がい者支援課といたしましても、保護者の思いに寄り添った支援や、インクルーシブの観点などからも、地域の保育園での受け入れ体制の整備は大変重要であると考えておりますので、引き続き保育課をはじめ、関係各所と連携・協力し取り組んでまいりたいと思います。

### 【保育課】

障がい加配保育士の配置、育成に努めるとともに、医療的ケア児の受入れを可能とするための体制整備として、公立保育園への看護師配置等についても検討し、医療的ケア児の地域生活支援の向上に努めてまいります。

## 【委員】

### ・資料2 No.13 見守りし合わせ支援事業

多数の事業に対してきめ細やかな実施、感謝申し上げます。

見守りし合わせ支援事業、上田市独自の実施としてありがたい内容だと思います。

ニーズがあると感じますので利用しやすくなるといいです。

また、見守り支援員に登録したまま連絡が何もないとの話を聞きましたので、実施内容報告を支援員をお願いしたいと思います。

### 【子育て・子育て支援課回答】

事業の実績については、年1回開催いたします研修会の場において報告をさせて頂いておりますが、御指摘のとおり、登録をいただいているすべての支援員の皆様には報告ができておりませんでした。

今年度の実績から、すべての支援員の皆様の実績報告を行うこととします。

## 【委員】

### ・資料2 No.39 一時預かり事業

子ども・子育て支援事業計画実施状況について、資料を拝見させていただきました。本当に上田市の全ての子ども及び保護者が安心して暮らせる子育て環境を充実させるために沢山の施策に取り組み、年々素晴らしい実績を上げて頂いている事に心から感謝と敬意を表したいと思います。

令和2年度の実施状況で、評価が△印のものはやはりコロナの影響がかなりあるのかな…と感じました。

3号認定のお子さんをお預かりしているという性質上、これまでなかった0歳、1・2歳児の待機児童が出ている現状が（数字的にはたとえ少なくとも）やはり気になります。現在もしばしば0～2歳の子どもを預けたいがどこもいっぱい…何とかならないか？というお問い合わせの電話がかかってくるようです。

特に、第2子出産時に上のお子さんを見てほしいとか、第2子出産後お母さんが育児につかれてしまい、上の子を預けたいとか、仕事が見つかったのに子どもを見てくれる人がいない…etc

せっぱつまったご事情に何とか答えていきたい気持ちはあっても定員がいっぱいの現状ではお断りするしかなく…心が痛みます。

本当に必要としている人に必要な支援が行き届くようにするためには、一步一步改善して頂いてはおりますが、一時預かり事業（月12日という縛りも含め）をもっと使いやすく、数を増やせばよし…ではなく実情を把握した上でニーズに合う内容への検討を是非お願いしたいと思っております。

## 【保育課回答】

今年4月に開園した「まるこ保育園」においても一時預かり事業を始め、また、民間施設2園でも事業を開始したため、数の上では充実が図られております。しかしながら、御意見にありますように、本当に必要としている人が、必要な時に利用できることが大事であり、ニーズを的確に把握した上で、利用しやすい一時預かり事業となるよう改善に努めてまいります。

(2) その他意見

「資料 2 No. 14 転入者のつどい事業」について、ぜひ今後も、コロナ禍において、転入してきた保護者と子どもが、地域の人々と繋がれるような支援をお願いしたいです。

「資料 2 No. 30 職員配置の充実」について、保育園の職員配置について、1 歳児 1 人に対して 3 人という配置は、保育の質を上げることになりますので、ぜひ、今後もこの数字を目指していただければと思います。

現代社会では、大人の都合で、子どもの遊び場がどんどん減ってきています。コロナ禍においては、なおのこと、子どもが自由に安心して遊び学ぶことが難しい状況です。いま、多くの子どもは家にいる時間が多くなっています。子どもの将来がとても心配です。ただ、自然が多い上田市は関東圏に比べると、子どもも保護者も外に出ることが許される環境だと思います。このことを活かして、今後も、子どもが遊び学ぶ場を保障して頂ければと思います。「児童館・児童センター」、「放課後児童クラブ」、「子ども会育成活動の支援」、「子どもの居場所づくり事業への支援」などには、人員を増やしたり、子どもが遊ぶ空間を新たに設けたり、多少の予算をつけたりすることで、職員の方は感染対策を行いやすくなるでしょうし、子どもの遊びと学びが保障されていきます。コロナ禍においても、子どもの遊びと学びの保障をするのが大人の責任だと思います。コロナ禍でなくても、学校と自宅以外の第 3 の空間というべき場所が、子どもには必要です。昭和の時代に子どもだった人たちは、この第 3 の空間がたくさんあったと思います。ぜひ、今の子どもたちにも、第 3 の空間を確保してあげてください。

・資料 2 No. 168・169 遊具のリニューアル及び公園整備・公園施設のリニューアル

例えば公園や施設のリニューアル会議などに、子どもや保護者が参加し、子どもや保護者の意見を取り入れてほしいと思います。子どもが集わない公園をたまに見かけます。そういう公園ではなくて、子どもや親が集うような「生きた公園」にするためにも、子どもも大人も一緒になって創り上げていく公園にしてほしいです。

新型コロナウイルス感染症による影響（感染レベルが上がったり、下がったり）から計画どおり実施していく困難さがあると思いますが、現状を踏まえできる事、新たにしていかなければならない事など、多面的に捉え、子育てに必要な見えない部分のフォロー等柔軟性をもって取り組んでいけたらと思います。

少子化対策は、子どもの安全確保のアピールによります。

## 2 上田市保育施設整備計画の変更について

### (1) 意見・質問

#### 【委員】

・資料4 7ページ(表中)、資料5 4ページ(左)

“わかくさ幼稚園 H32年度 みなみ保育園・東内保育園と統合予定”の記述がありますが、そのままでもよいですか？

(まるこ保育園 R3.3の表記は、R3.03として他に合わせたほうが見やすいと思います)

#### 【保育課回答】

御指摘いただきました一覧表については、現存する施設の統廃合及び整備状況を記載したものであり、わかくさ幼稚園は、既にまるこ保育園に統合され、現存する施設ではないため、削除します。

また、まるこ保育園の建築年月は、御指摘いただきましたとおり、他の施設の表記と合わせ、「R03.03」に訂正します。

#### 【委員】

・資料4 6ページ 保育サービスの概要の各園の開園時間について

一部夕方18時までという園があります。3歳になると次に行く園を決めるため保護者の方と懇談しておりますが、家に近く、規模的にも丁度良いし、小学校の学区のことを考えるとその園に第一希望で出したいけれど、18時までだと迎えが間に合わないからという理由でやむなく別の延長保育を18:30までしている園を選ばざるを得ないという方が数名おりました。

標準時間11時間を考えると、夕方は18時30分までにしていただけると希望する園に通うことができるかと思うのですが…。御検討、よろしくお願いいたします。

#### 【保育課回答】

現在29園ある公立保育園のうち6園が11時間未満の開所時間となっており、夕方の延長保育が18時までの保育園が5園あります。保育所の開所時間については、地域性や利用者のニーズ等を踏まえて設定したものになりますが、核家族世帯の増加、就労形態の多様化などから、御意見にあるような状況も生じているものと思います。

開所時間の延長には、職員体制などの課題もありますが、利用者のニーズを確認した上で、利用しやすい保育園になるよう検討してまいります。

## 【委員】

- ・資料5 9ページ～11ページ 施設の現状の表について

劣化度、老朽度、耐震性等施設評価結果を拝見し、承知はしていたものの保護者からの立場からの目線で見ると、特に安全性においてはかなり不安感を感じます。

また、周辺に利便性がよく、ある程度の定員を受け入れられる公立保育園がないと保護者の方から御意見をいただくことが多いです。

その辺を含め公の必要な統廃合をしつつの保育施設整備に全面的に協力したいという考えをもっておりますので、何かございましたらお声がけください

## 【保育課回答】

御協力のお申し出をいただき、ありがとうございます。資料4 18ページ(3)のとおり、「改築・統廃合に伴う保育施設の配置については、私立保育園・幼稚園等を含めて保育需要を把握し、バランスのとれた配置に努める」こととしています。

今後の統廃合等の施設整備に当たっては、貴園をはじめ、私立保育園・幼稚園の皆様とも事前調整を行い、御協力を得ながら進めていくこととなりますので、よろしく願いいたします。

## (2) その他意見

- ・保育施設の統廃合について。

現在は、園や学校の統廃合をしていくのがあたり前の社会になっていますが、子どもの数が減っていることをプラスに取り、少人数の保育を目指すことも大事だと思います。先日、室賀保育園さんに伺い、子どもは落ち着いた環境の中で、多様な経験をしていることが、とてもよくわかりました。先生方の声がほとんどしないので、子どもは目の前のことにじっくり関われますし、鳥や虫の音が耳に入ってきたり、空や山が目に入ってきたりします。子どもの人数が多いと、どうしても先生の声も大きくなり、子どもは落ち着かなくなります。保育施設について、90人定員だけがいいわけでもないのですが、統廃合以外の道も考えることが出来たらと思います。ランニングコストの縮減は大事なことだと思いますが、子どもが育つ環境に対してランニングコストを縮減しないような（むしろ豊かにするような）社会になればいいなあと思います。

- ・複合施設について。

複合施設も、うまくデザインすれば、可能性が広がる施設になりますので、複合施設内に保育施設を創ることもとても良いと思います。ただし、理念なく建物だけを用意しても、廃墟のような建物に子どもがいるだけになってしまう危険性もあります。複合施設をつくるようなことがありましたら、ぜひ、理念ある複合施設を作っていただければと思います。

これは余談になるかと思いますが、保育サービスの概要にある「保育園では、子育て支援と保育内容の充実のために、次のような事業を実施しています」というところの「②障がい児保育」の「保育園での集団生活が可能な範囲で」という一文が気になりました。障がいをお持ちのお子さんの多くは、集団生活は難しいですし、障がいをお持ちでなくても、集団生活になじめない子どもはたくさんいます。

最近、「大人主導の集団活動」に対する反省のなかで、子どもの主体性、自主性を尊重する保育・幼児教育が目指されているなかで、今は、われわれ大人たちは「保育園での手段生活が可能な範囲で」という考え方を転換していかなければならない時代だと思います。

上田市でも待機児童が発生し未満児の入所希望が増える背景に、周囲のお母さんたちからこんな話を聞きました。

希望の保育園があれば、未満児の早い時期から入れておかないと、年少からの入園枠は殆どなく希望しても入れない。だから早く子どもを預けて、仕事をする！そんなお母さんが今、増えているそうです。

ご家庭により様々な事情はあるかと思いますが、もし可能であるなら、出産から入園までの数年間、人生の中でほんのいつとき子どもと一緒に過ごす時間を満喫できるといいなあと思います。

自我が芽生えイヤイヤ期が始まり、子育てが大変な時期ではありますが、人間としての根っこが育つ尊い時間でもあります。

行政として保育の受皿を作るのは勿論ですが、一時預かりや支援センターなど周囲の協力を得て、お母さんが一息つきながら子育てを楽しむことが出来る。そんな心の贅沢ができる上田市であって欲しいと願っています

適宜に応じて変更されており、良いと思います。

どれだけ安全にお金をかけているかのアピールです。